

令和4年度 事業方針

令和4年6月8日
気仙沼観光推進機構

1. 令和3年度 気仙沼市の観光動向

2. 令和4年度事業方針

3. 各事業方針

方針①「旅の目的となる商品開発・販売」

方針②「エリア別アプローチ強化とリピート化促進」

方針③「教育旅行ならびにエージェント経由の
一般団体・個人の誘客営業の実施」

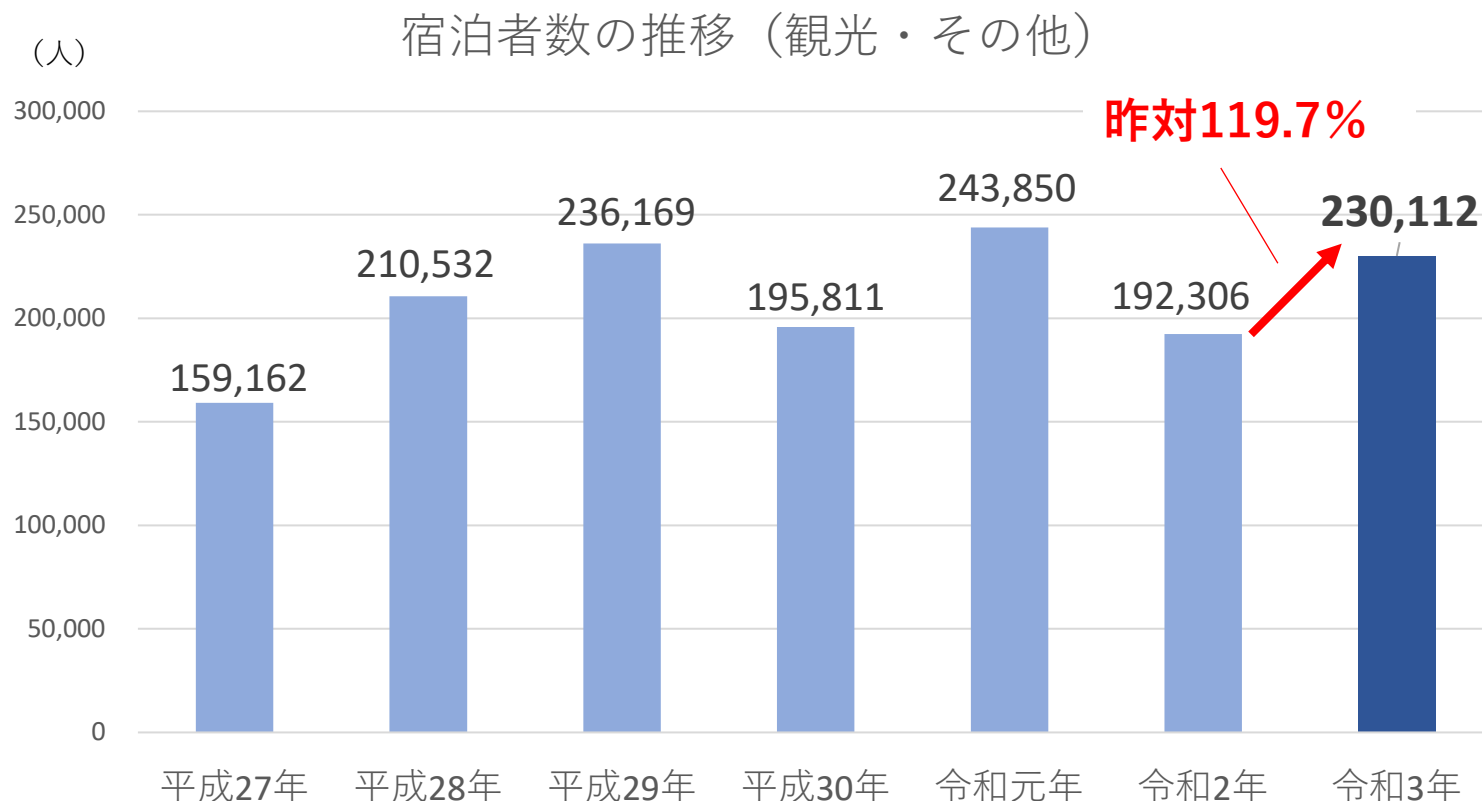
方針④「観光施設整備の推進と効果の最大化」

1. 令和3年度 気仙沼市の観光動向

観光宿泊者の実績（令和3年1～12月）



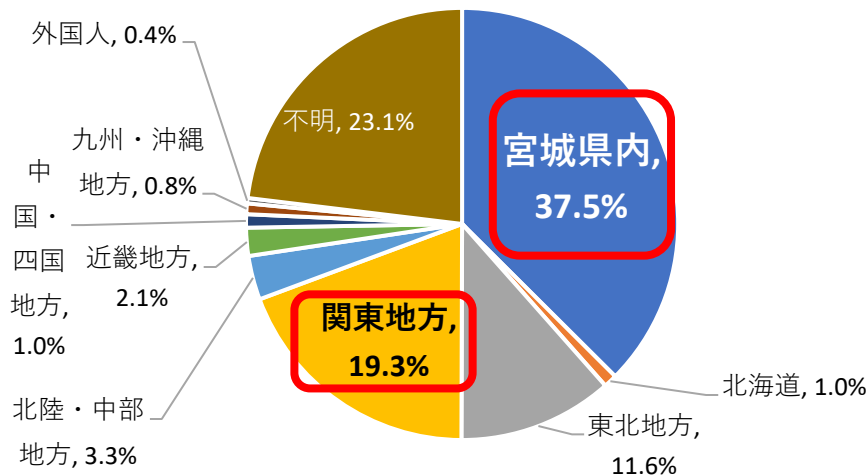
令和2年に引き続き全国的にコロナ禍にあり、観光業界にとっては依然として厳しい状況だったが、令和3年3月「気仙沼湾横断橋」の開通、「道の駅大谷海岸」のグランドオープン、5月に放送が始まった「おかえりモネ」を活用した誘客等により、宿泊観光客数は**230千人、対前年比119.7%**となった。



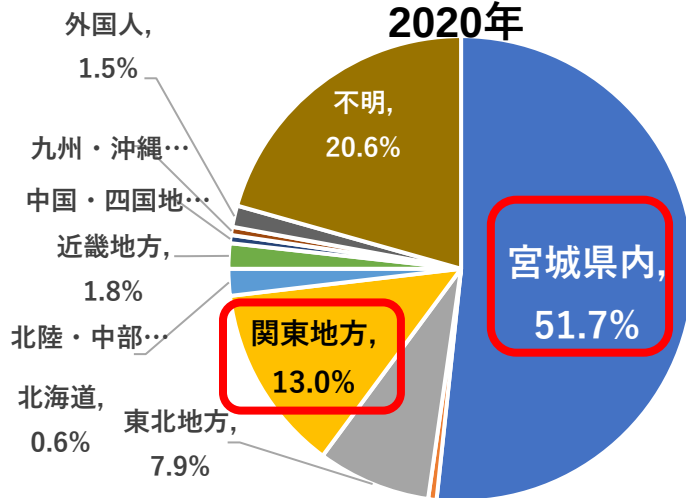
宿泊者の居住地

✓ 県民割等のマイクロツーリズムの浸透により、宮城県内の宿泊者が増えている。また関東地方の宿泊割合が、コロナ前に戻りつつある。

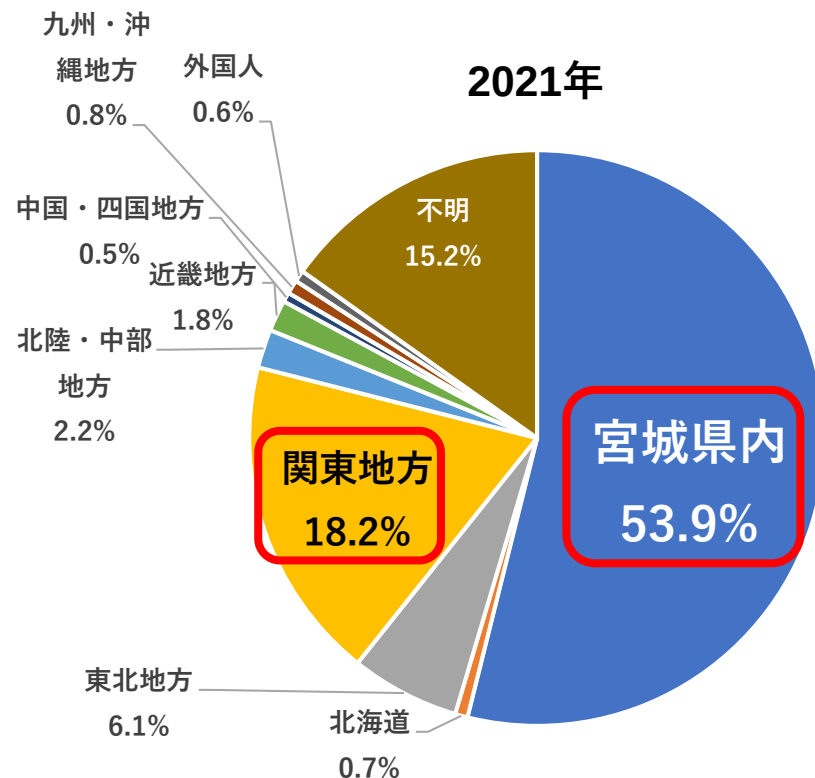
2019年（コロナ前）



2020年



2021年

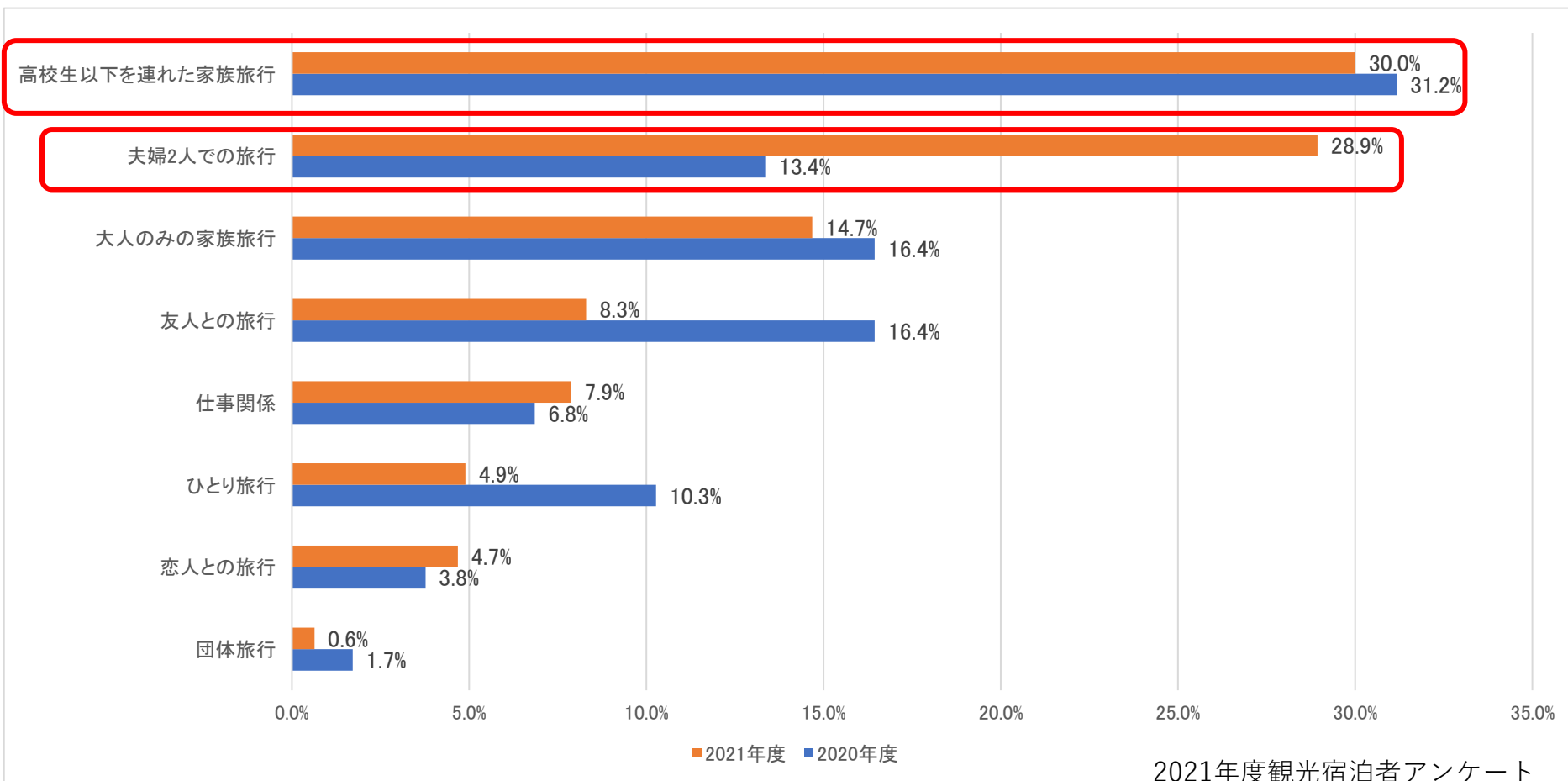


気仙沼市観光宿泊者割合 出所：気仙沼観光マーケティングレポート

県内来訪客の特徴（2021年度：n=470、2020年度n=298）



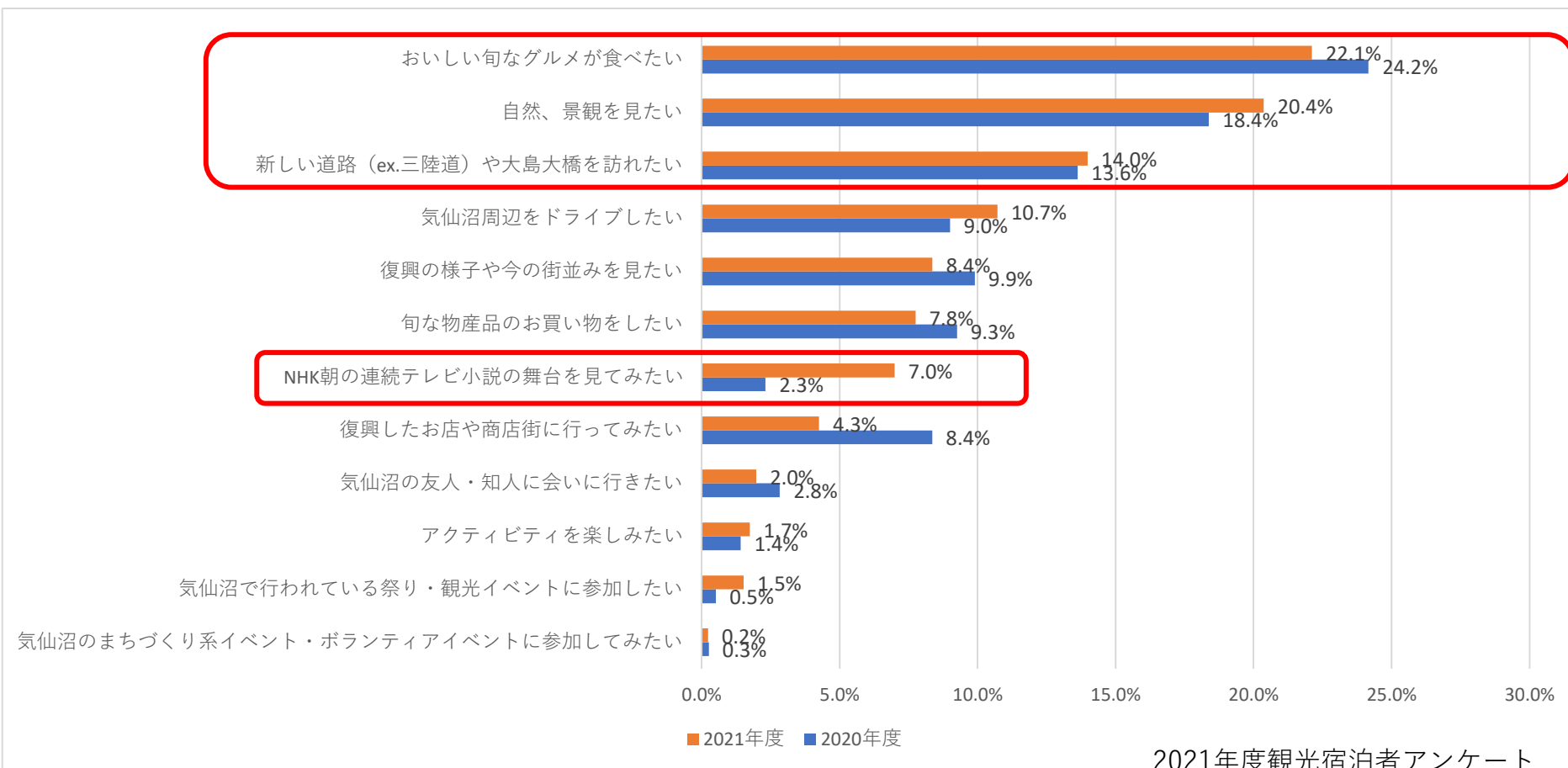
- ✓ 30～40歳代の回答割合が多く、「高校生以下を連れた家族旅行」が多いのが特徴。
- ✓ 昨年と比較すると「友人との旅行」「ひとり旅行」が減少し、「夫婦2人での旅行」の割合が増加した。



県内来訪客の特徴（2021年度：n=470、2020年度n=298）



- ✓ 来訪目的では昨年と比較すると「食」が減少し、「自然、景観」や「朝ドラ」が増加した。
- ✓ 「復興」へのニーズが比較的低く、「自然、景観」や「三陸道や大島大橋」が高いのが特徴。

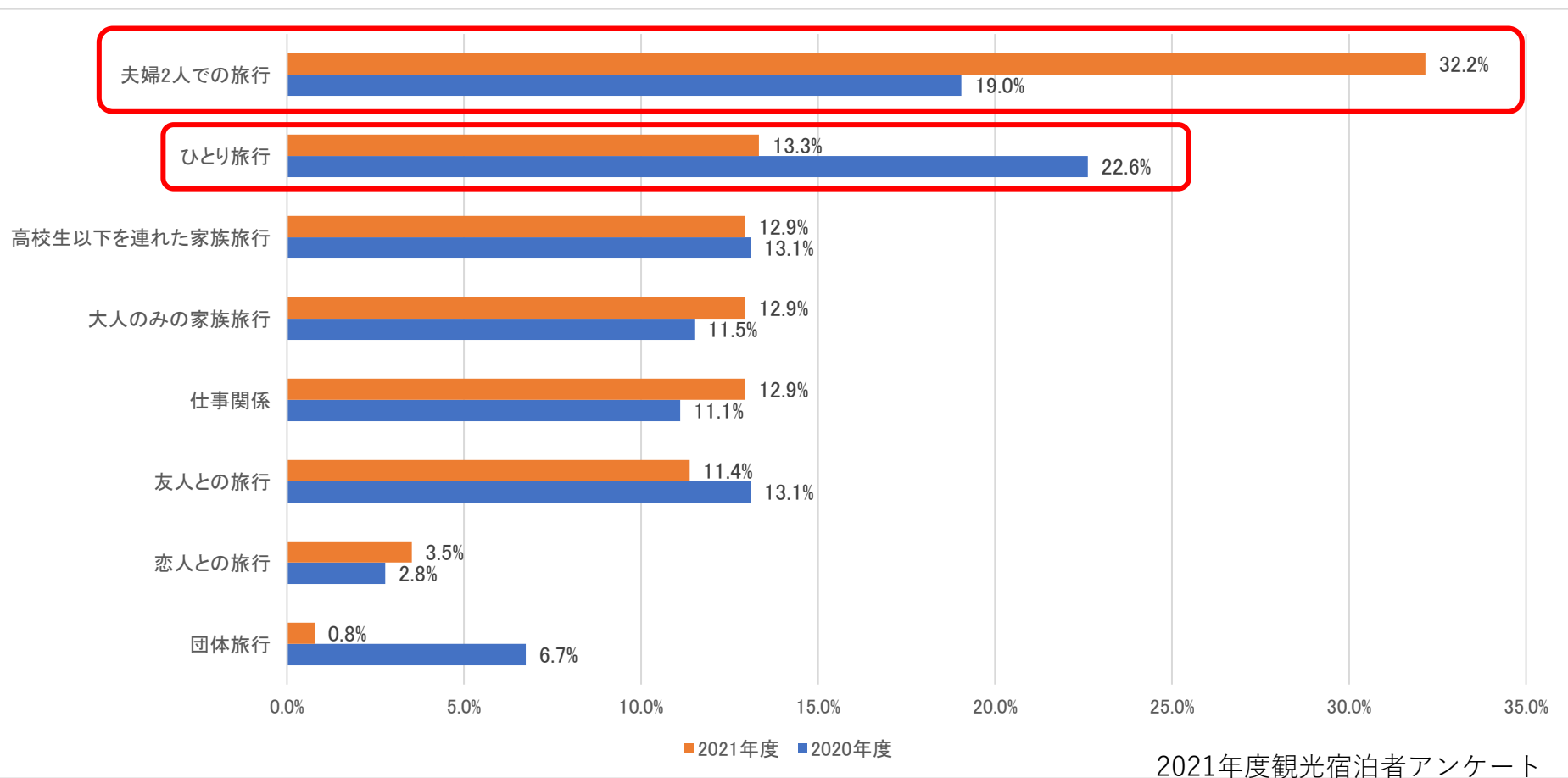


2021年度観光宿泊者アンケート

関東来訪客の特徴（2021年度：n=255、2020年度：n=252）



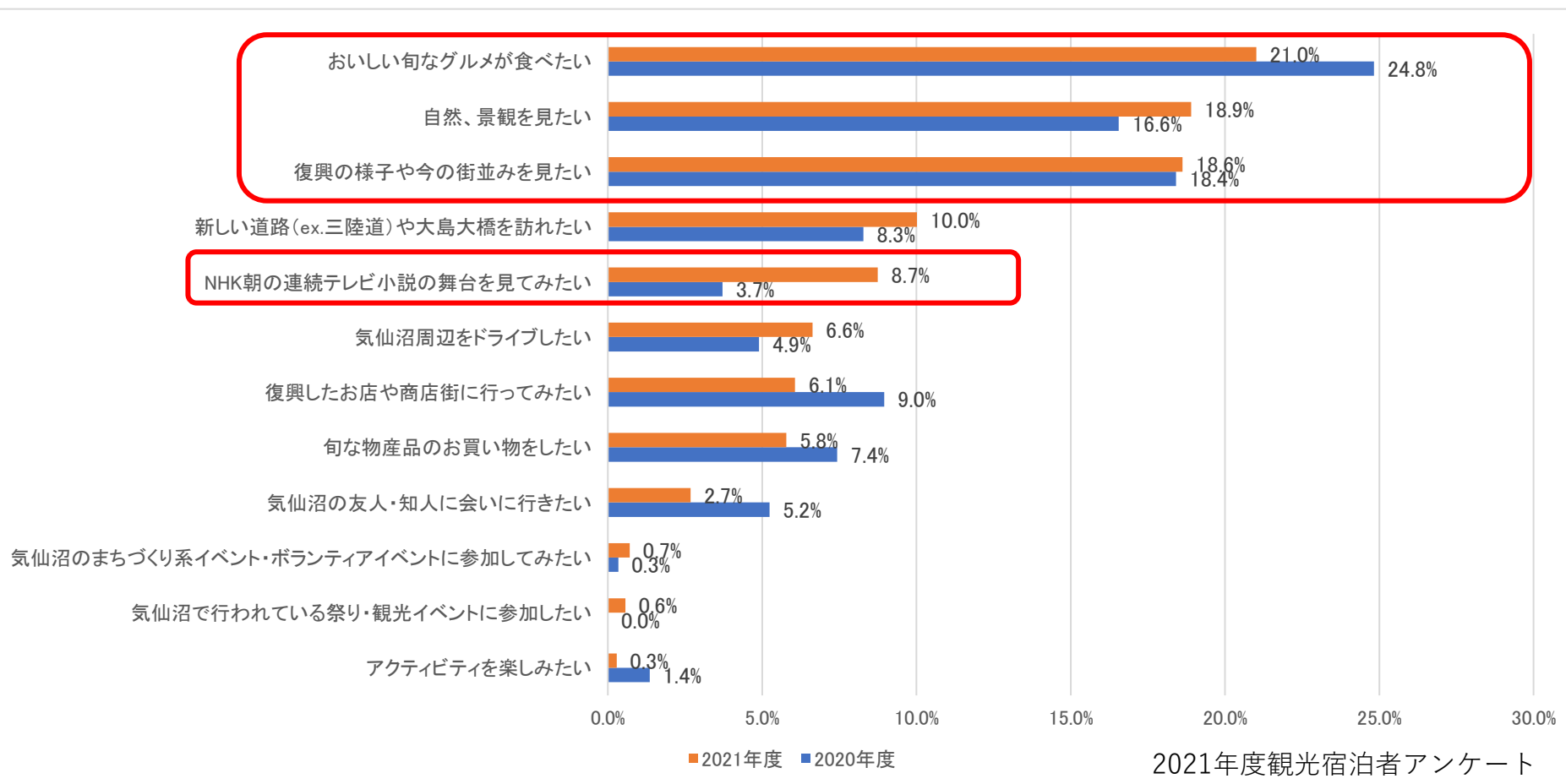
- ✓ 60歳代の回答が多く、「夫婦2人での旅行」と「ひとり旅行」が多い傾向がある。
- ✓ 昨年と比較すると「ひとり旅行」、「友人との旅行」、「団体旅行」の割合が減少した。一方で「夫婦2人での旅行」が大きく増加した。



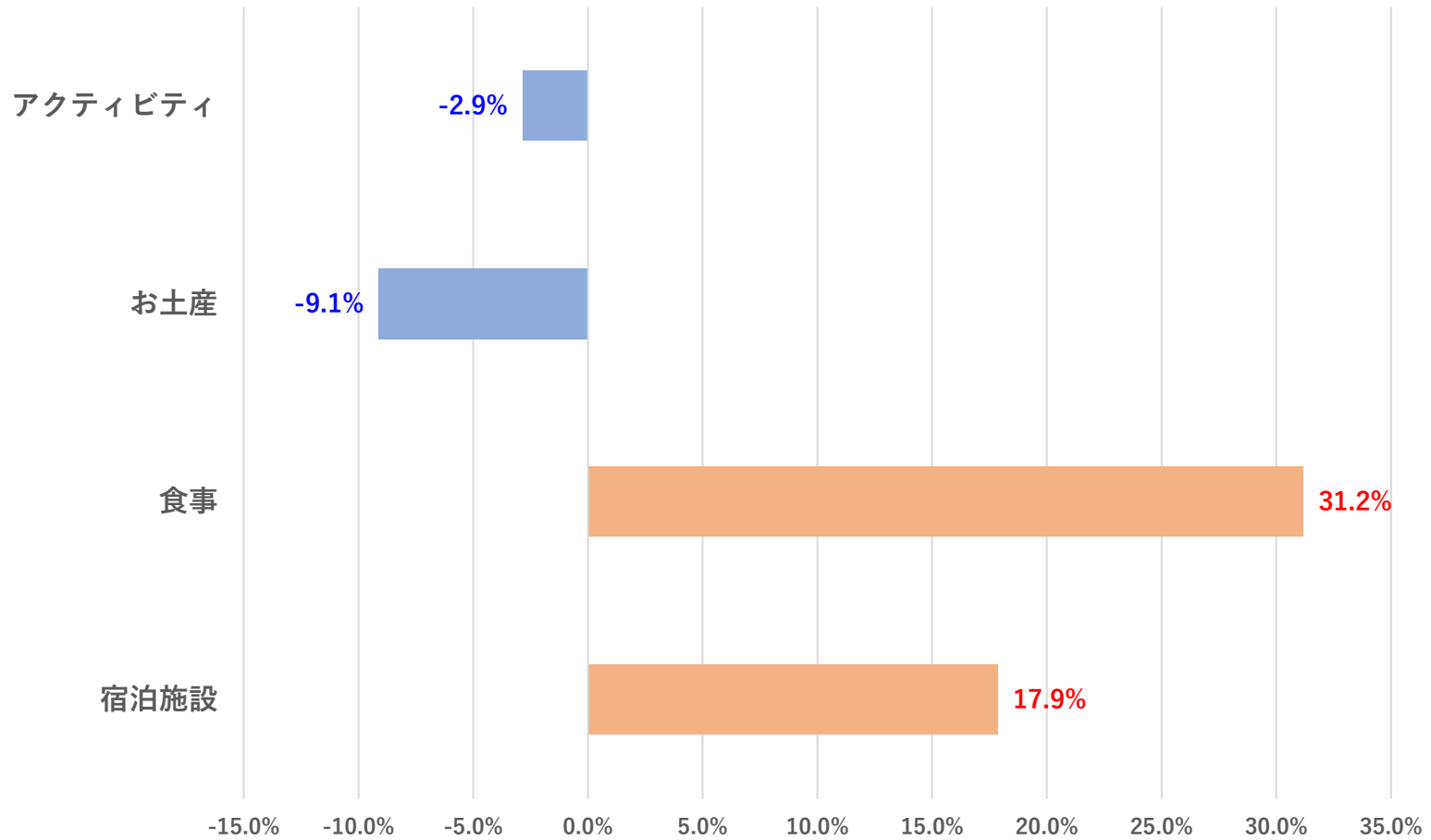
関東来訪客の特徴（2021年度：n=255、2020年度：n=252）



- ✓ 「食」（20.1%）、が最大の目的であり、「自然、景観」（19.7%）、「復興」（17.9%）と続き、「復興」へのニーズが比較的高いのが特徴。
- ✓ 昨年と比較すると「食」が減少し「自然、景観」と「朝ドラ」のニーズが増加した。



NPS（他者推奨度）

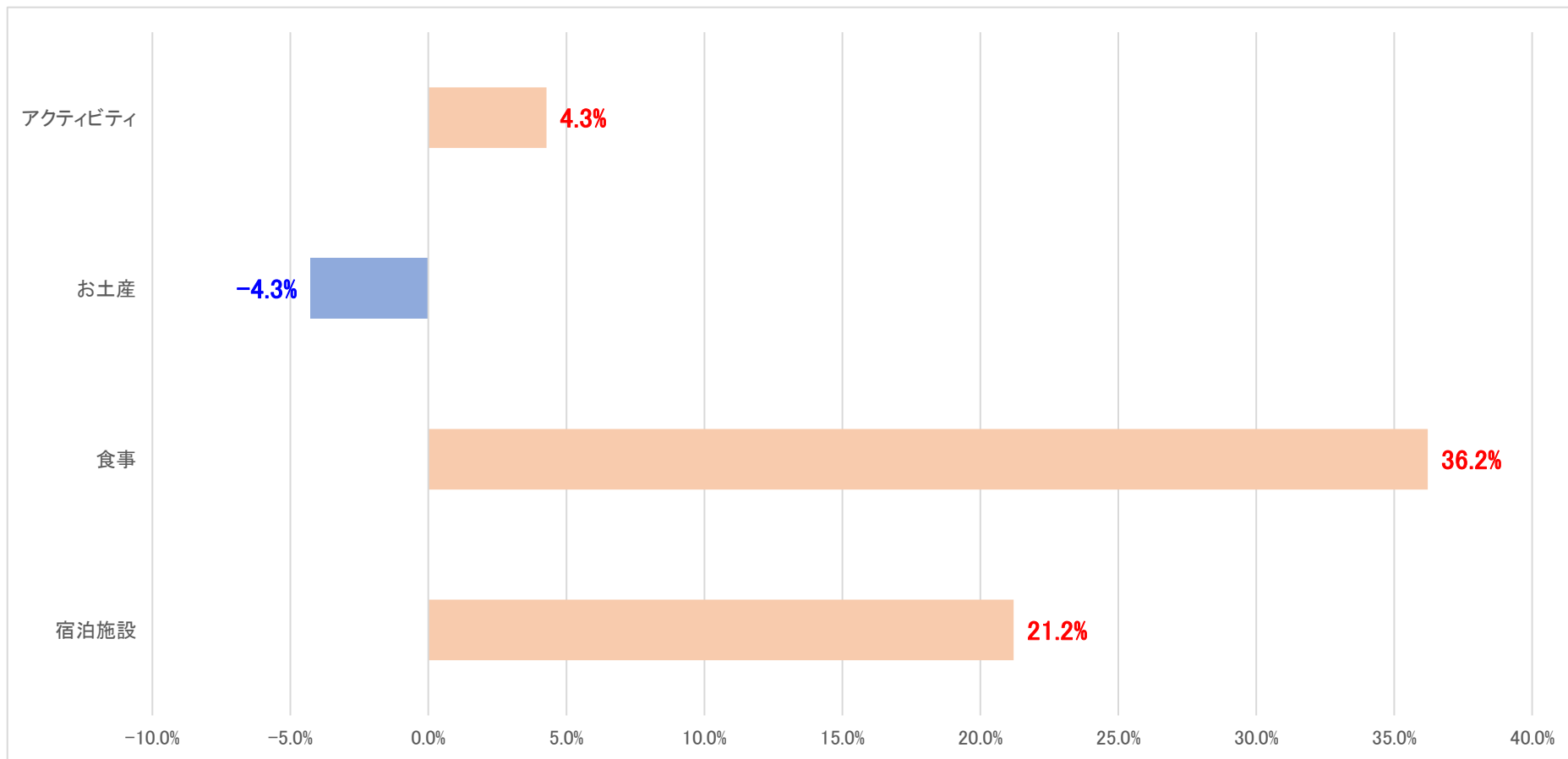


2021年度観光宿泊者アンケート

NPS（県内）



- ✓ 「食事」、「宿泊施設」のNPSは特に高評価となり、コメントでは食事や自然景観に関するものが多かった。
- ✓ 「お土産」だけがマイナス評価となり、課題が浮き彫りになった。

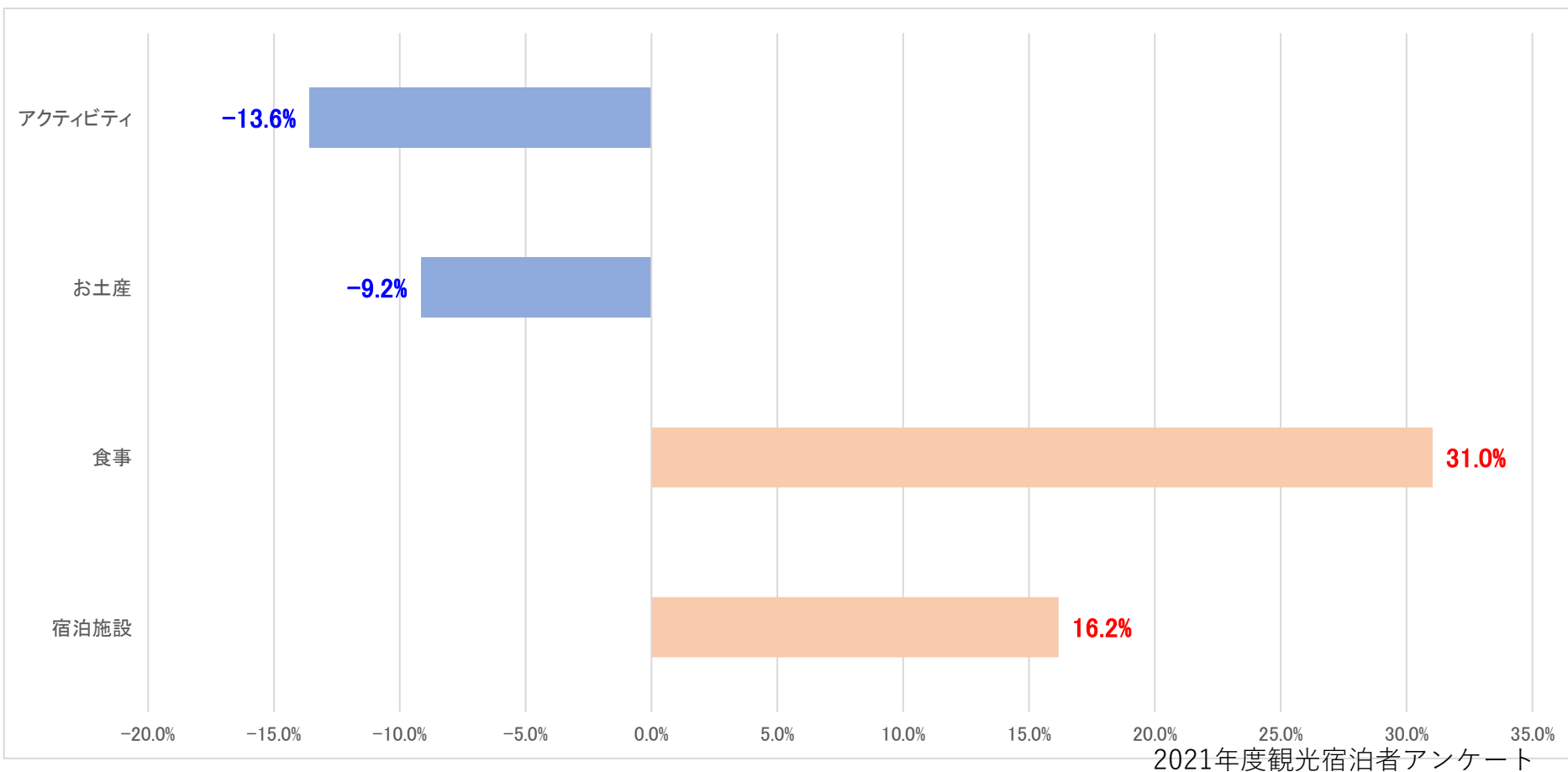


2021年度観光宿泊者アンケート

NPS（関東）



- ✓ 「食事」、「宿泊施設」は高評価となった。
- ✓ 一方で「アクティビティ」と「お土産」で大きくマイナス評価となった。
- ✓ 遠方からの来訪客への楽しみ方の提案やお土産物が課題。



2021年度観光宿泊者アンケート

観光ポータルサイト閲覧数



- おかえりモネの放送期間中を中心に観光ポータルサイトの閲覧数が大きく伸びた。
- 大島大橋や徳仙丈などの観光スポットが良く見られ、特に2021年4月にオープンした道の駅大谷海岸が検索されていた。
- 市外の観光客だけでなく、市民も飲食店のテイクアウト情報を求めてポータルサイトを見ていた。

【見られていたページ】

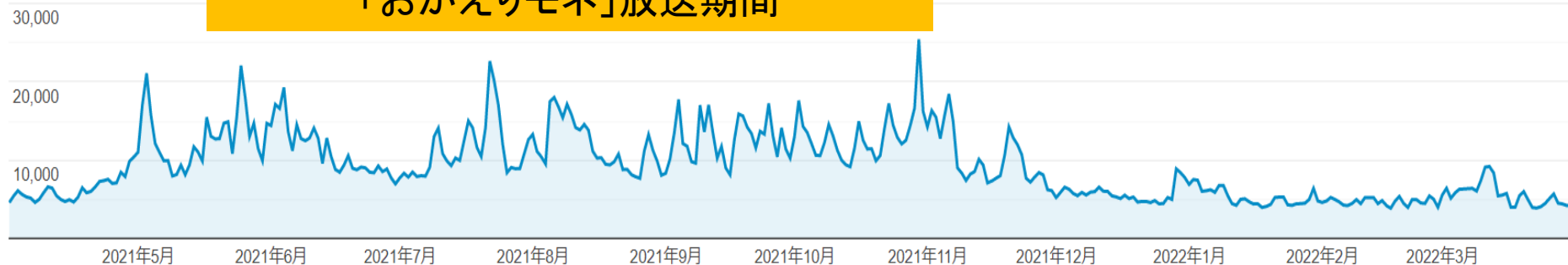
- おかえりモネ特設ページ
- おかえりモネ日記
- 道の駅大谷海岸
- スポットページ
- 食ページ
- おかえりモネ展
- 徳仙丈開花情報
- 大島大橋
- テイクアウト気仙沼

ページビュー数 ▼ 対 指標を選択

日 週 月  

● ページビュー数

「おかえりモネ」放送期間



2. 令和4年度事業方針

①【商品開発】

誘客の核となる体験商品の開発、磨き上げが不十分。

②【広告宣伝・販売促進】

マイクロツーリズムの浸透が一定の効果につながった一方で、気仙沼ファン・リピーター化への勘所（だれに、何を、どのように提案するのが良いか）を確立できていない。

③【団体営業】

教育旅行は、大都市を中心とした定番観光旅行形態から、SDGs等をテーマとした地方ならではの体験、学びへのニーズが高まっている。

④【インフラ】

観光地や観光施設について、復興事業等により再建・リニューアルが進みつつあるが、その活用方法や整備による効果に改善の余地がある。

令和4年度の事業方針（4つの方針）



方針①「旅の目的となる商品開発・販売」

【商品開発】

旅の目的となる体験商品として**(1)おかえりモネ・震災、(2)食、(3)アドベンチャー ツーリズムをテーマに開発し販売**する。

方針②「エリア別アプローチ強化とリピート化促進」

【広告宣伝・販売促進】

宿泊客の多くを占める県内からの誘客(マイクロツーリズム)を継続するとともに**関東以遠へのエリア別アプローチを強化**する。

また、クルーカードの会員獲得が進んでおり、R3に改修を行ったアプリのPUSH機能等も活用し、**ダイレクトマーケティングによるリピート化を促進**する。

方針③「教育旅行ならびにエージェント経由の一般団体・個人の誘客営業の実施」

【団体営業】

「おかえりモネ」とも絡めながらSDGs、防災学習についてリアルに体験できる気仙沼の強みを活かした**教育旅行の誘致**と並行して、**小規模(10～20人)の送客が多い中小並びに個人商品を販売している旅行代理店**に対する営業を強化する。

方針④「観光施設整備の推進と効果の最大化」

【インフラ】

本市観光における“最後の復興事業”ともいえるべき**亀山アクセス手段の具体的方針の決定・整備着手**のほか、**海水浴場の通年・多角利用の推進**や**繁盛する道の駅大谷海岸の加速化**など、復興した観光施設・資源の活用による効果の最大化に取り組む。

3. 各事業方針

方針①「旅の目的となる商品開発・販売」

3. 各方針の説明①「旅の目的となる商品開発・販売」

【方針①に基づく事業展開の考え方】

「旅の目的となる体験商品」については、観光宿泊者の来訪目的等を踏まえ
(1) おかえりモネ・震災 (2) 食 (3) アドベンチャーツーリズム を
テーマに開発・販売する。

観光宿泊者の来訪目的

自然景観 ・海水浴	20.2 %
食	19.4 %
震災復興	18.6 %
橋・道路	12.2 %
ドライブ	9.5 %
モネ	7.7 %
買い物	7.1 %
その他	5.3 %

着地型体験（商品）

【商品開発テーマ】

- (1) モネ・震災
- (2) 食
- (3) アドベンチャー
ツーリズム

3本柱の
体験商品
として販売

n=696（複数選択で回答）

出所：2021年5、8、11月宿泊者アンケート調査より

3. 方針①「旅の目的となる商品開発・販売」

テーマ（１）おかえりモネ・震災

《方針》

- ✓ 「モネ舞台地」観光から「気仙沼」観光へ踏み込んでもらうための普遍的テーマへの移行を促す
- ✓ 季節感を意識した「おかえりモネ」や「震災」をテーマとした主力商品の通年販売

《令和4年度の主な実施事業》

- ◎ 「おかえりモネ展」の運営と新展示スペースの設営と運営
- ◎ ガイド商品【モネガイド（まち歩き、バスツアー）、語り部ガイド】などの販売促進

【4・5月の実績】

- ・ 「おかえりモネ展」の運営
- ・ モネガイド（まち歩き、バスツアー）、語り部ガイドの実施[春の体験プログラム]

【今後の予定】

- ・ 新展示スペースの設営と運営
- ・ 夏秋に向けた体験コンテンツの開発 など



3. 方針①「旅の目的となる商品開発・販売」

テーマ（２）食

《方針》

- ✓ 遠方からの誘客を意識した既存の「食」に関する資源を集約・プロデュース
- ✓ 地域全体での訴求を意識し、旬の食&体験商品を組み合わせた「食の祭典」の実施

《令和4年度の主な実施事業》

- ◎ 食の祭典（気仙沼バル、かつお祭りなど）
- ◎ 食コンテンツの開発・磨き上げ・販売促進

【4・5月の実績】

- ・ 気仙沼バルの実施
- ・ 牡蠣漁師体験の実施
- ・ 旅行業者を通じた「KESENNUMA BREWER'S TABLE」の実施販売

【今後の予定】

- ・ 夏に向けた食の体験コンテンツの販売
- ・ かつお祭りの実施
- ・ 冬の食の祭典の開催（冬の牡蠣、メカジキ）



3. 方針①「旅の目的となる商品開発・販売」



テーマ（3）アドベンチャーツーリズム

《方針》

- ✓ 気仙沼の魅力を「アクティビティ」を通じて堪能できる体験型ツアーや宿泊プランの販売促進
- ✓ コロナ禍におけるアウトドア需要の高まりに対応

《令和4年度の主な実施事業》

- ◎ 個人向け商品の販売強化と新規ガイド商品の開発（スターライトツアーなど）
- ◎ アウトドア体験販売の促進を目的としたイベントの実施（年2回を予定）

【4・5月の実績】

- ・ トレッキングガイドの実施
[春の体験プログラム]
- ・ スターライトツアーの実施
[春の体験プログラム]

【今後の予定】

- ・ SDGs唐桑半島トレッキングワークス
（トレッキングイベントの実施）
- ・ 夏秋に向けた体験コンテンツの開発等



4～6月のプログラムスケジュール	
4/20(土) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 4/22(日) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 4/24(火) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 4/26(木) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 4/28(土) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 4/30(日) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。	5/1(月) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 5/3(水) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 5/5(金) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 5/7(日) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 5/9(火) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 5/11(木) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。
日にちを決められる体験プログラム	
4/20(土) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 4/22(日) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 4/24(火) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 4/26(木) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 4/28(土) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 4/30(日) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。	5/1(月) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 5/3(水) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 5/5(金) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 5/7(日) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 5/9(火) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。 5/11(木) 12:00～15:00 大森山 大森山を頂上まで歩きます。大森山の自然を満喫します。

3. 方針①「旅の目的となる商品開発・販売」



《注力する着地型体験商品》

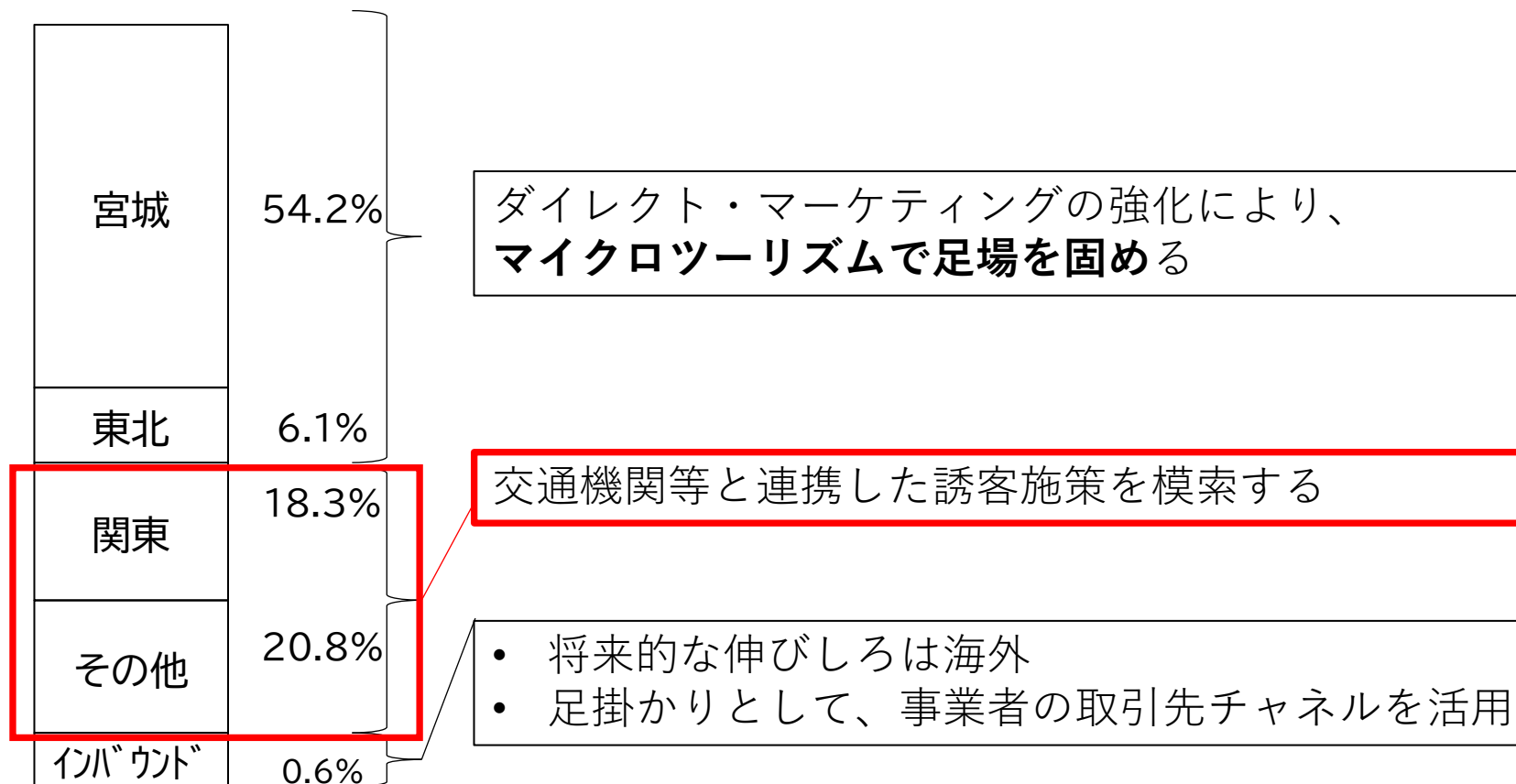
- ・ ジャンルごとに令和4年度に注力する体験コンテンツを6つ選定。
- ・ 目標を定め、気仙沼の核となる体験コンテンツとして磨き上げ・販売
- ・ 商品体験部会で進捗の確認。

ジャンル	体験名	実施主体
モネ・震災	モネガイド（まち歩き、バスツアー）、語り部ガイドなど	観光協会
食	歩こう！朝の☀魚市場（季節により名称・内容を変更）	観光協会
食	牡蠣漁師とめぐる 気仙沼牡蠣の育つ海と山の恵み	地域戦略
食	KESENNUMA BREWER'S TABLE	地域戦略
アドベンチャー	トレッキングガイド（季節により名称・内容を変更）	観光協会
アドベンチャー	星降る島のスターライトツアー	観光協会

方針②「エリア別アプローチ強化とリピート化促進」

方針②「エリア別アプローチ強化とリピート化促進」

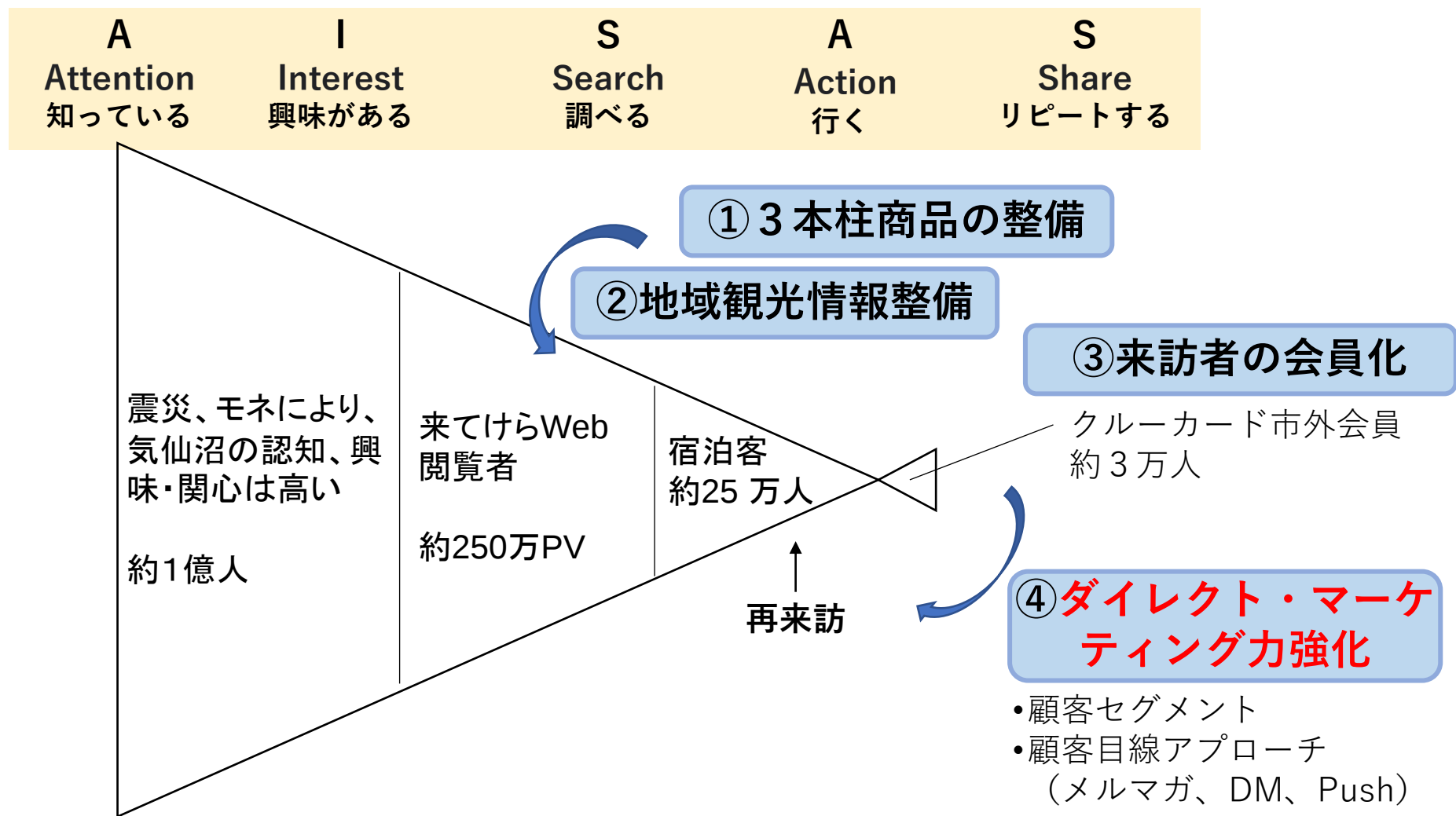
- ✓ 宿泊割合の約60%を占める宮城・東北を中心としたマイクロツーリズムで足場を固めつつ、**関東より遠方の誘客施策を模索**する。
- ✓ また**インバウンド**については、アフターコロナを見据え事業者の取引先チャネルを活用しての誘客施策を展開する。



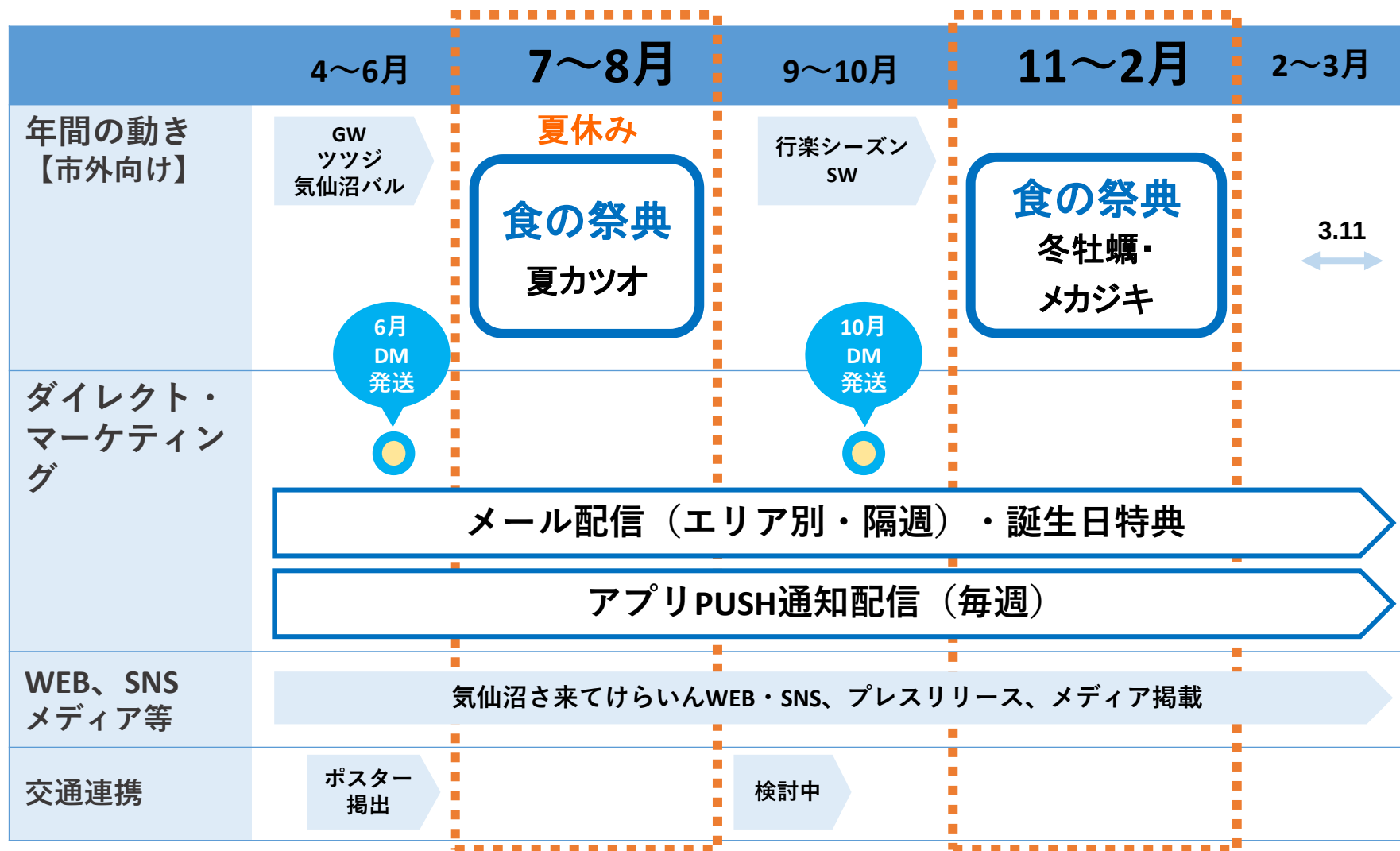
出所：2021年気仙沼観光マーケティングレポート

方針②「エリア別アプローチ強化とリピート化促進」

令和2年度に引き続き、来訪者のクルーカード会員化を促進し、**ダイレクト・マーケティング**力強化により**再来訪の獲得**を目指す。



方針②「エリア別アプローチ強化とリピート化促進」



夏と冬に誘客の山を設定！一緒に盛り上げましょう！

方針②「エリア別アプローチ強化とリピート化促進」



エリア ターゲット	リピーターの誘客	新規顧客誘客
< 夏 > 宮城県内 東北	Interest 興味がある Search 調べる Action 行く 気仙沼クルーズシップ 会員へ直接アプローチ - ダイレクトメール (6月、10月に送付) - メールマガジン (隔週配信 + 誕生月) - アプリでのプッシュ通知 (毎週配信 + 臨時配信) それぞれの打ち手に対して 反応率をチェック！	Interest 興味がある Search 調べる Action 行く - 気仙沼さ来て けらいんWEB - SNS - メディア媒体 - 交通機関との 連携
< 冬 > 関東 その他		

直接情報を届け、再来訪につなげる。
現地で会員獲得。

方針③「教育旅行ならびにエージェント経由の 一般団体・個人の誘客営業の実施」

方針③「教育旅行ならびにエージェント経由の一般団体・個人の誘客営業の実施」

《方針》

- ✓ SDGsや防災学習をリアルに体験できる気仙沼の強みを活かした教育旅行誘致を推進
- ✓ 小規模（10～20人）の送客が多い中小並びに個人商品を販売している旅行代理店を対象に営業活動を強化

《令和4年度の主な実施事業》

- ◎ 営業資料の作成（SDGsやコロナ対策などの情報も盛り込む）
- ◎ 教育旅行、一般団体旅行の誘致活動（出張営業、商談会への参加等）
- ◎ 旅行代理店を対象としたモニターツアーの実施

【4・5月の実績】

- ・ 旅行代理店と連携をした商品造成
- ・ 教育旅行の受入れ（中学校修学旅行など）
- ・ スポーツ大会の受入れと調整

【今後の予定】

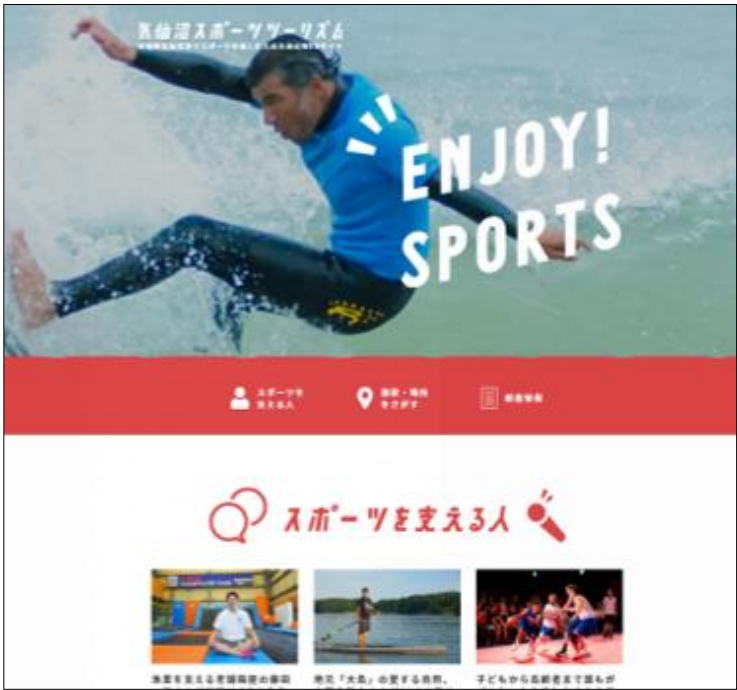
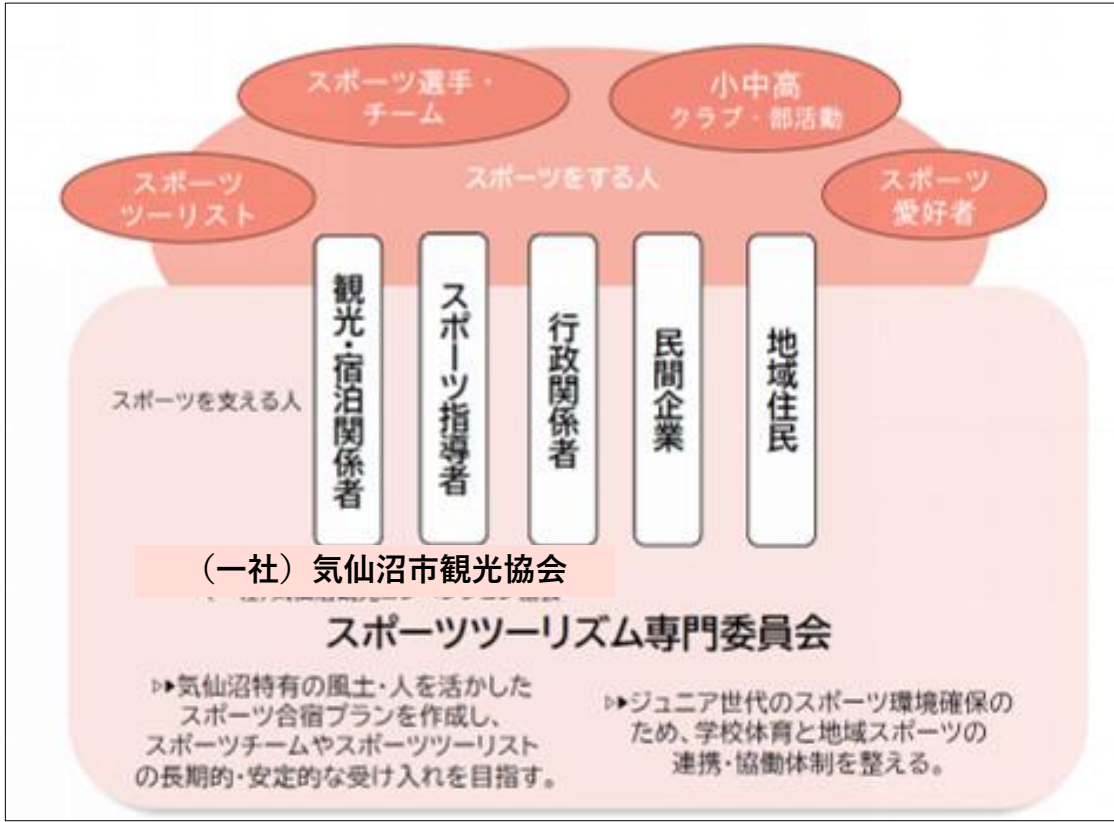
- ・ 営業資料の作成、誘客営業の実施（教育旅行、一般団体）
- ・ スポーツツーリズム専門委員会の取り組みなど

* 次ページ説明あり



方針③「教育旅行ならびにエージェント経由の一般団体・個人の誘客営業の実施」

スポーツツーリズム専門委員会の取り組みについて



- 観光事業者、スポーツ団体関係者等22名をメンバーとした専門委員会
- スポーツツーリズムの推進やスポーツコンベンションの受入促進を目的に、受付窓口の整備やweb等による情報発信に取り組む

各ツーリズムの推進にむけ、みなさまの参画をお待ちしております！！

方針④「観光施設整備の推進と効果の最大化」

方針④ 観光施設整備の推進と効果の最大化

1. 今後整備予定の観光施設

(1) 亀山園地 ※R6年度供用開始予定

観光復興事業の総仕上げとして、亀山山頂までの輸送手段の確立と園地の施設整備を進めます。

< スケジュール > ※現段階の予定、変更の可能性あり

令和3年度	サウンディング型市場調査
令和4年度	事業候補者の公募・選定
令和5年度	設計発注 造成工事一部着手 造成工事完了
令和6年度	レストハウス改修工事 輸送手段工事着手・完了 事業開始

< 予定事業費 >
約1,000,000千円



※画像は輸送手段のイメージです。

(2) 唐桑半島ビジターセンター・津波体験館

鉄筋コンクリート造である現行の建物の内・外装を木材で覆い、「軽飲食」や「シャワー」等、アドベンチャーツーリズムの拠点として相応しい雰囲気と機能を持つ施設として再整備します。併せて、現所有者である宮城県から市への移管手続きを進めます。

< スケジュール >

令和3年度	設計発注
令和4年度	設計完了 改修工事着手・完了
令和5年度	リニューアルオープン

< 予定事業費 >
約240,000千円



(3) からくわ荘跡地

令和2年度に建物の解体が終了したからくわ荘跡地の活用について、初心者やファミリー向けのオートキャンプ場としての利用を柱としながら、引き続き唐桑観光活性化委員会（鈴木淳平委員長）で検討を重ねます。

2. 効果の最大化

(1) 海水浴場の通年・多角化利用の推進

- ・ 小田の浜, お伊勢浜, 大谷, 小泉, 4か所全ての海水浴場の開設
- ・ 浜ごとに地域の関係団体と連携した特色のある海水浴場運営
- ・ 広い砂浜を活用したスポーツイベントの開催やアクティビティの実施

(2) さらに繁盛する道の駅大谷海岸

- ・ オール気仙沼での生鮮品の安定供給に向けた体制強化
- ・ 道の駅の集客力を生かし, 来館前後での市内周遊観光の促進

(3) 唐桑半島ビジターセンターとからくわ荘跡地の一体的活用 ※R5年度供用予定

- ・ 初心者から上級者まで楽しめるアウトドアの拠点へリニューアル
- ・ キャンプやトレッキングの拠点としての包括的な運用

(4) 亀山園地整備事業 ※R6年度供用予定

- ・ 山頂までのアクセス手段の具体的方針決定と整備着手
- ・ 民間事業者の知恵を取り入れた, 景観を生かした施設設計やサービスの開発



アンケートのご協力をお願いいたします。
WEBフォームにてご回答いただだけます。
こちらのQRコードを読み込んでください

